葛高生サンタさんが保育園を訪問 一足早い訪問に園児は大喜び

葛巻保育園

小屋瀬保育園

12月16日と17日の2日間、葛巻高校の家庭クラブ委員会の生徒5人が、サンタやトナカイに扮し、町内保育園を訪問しました。この活動は園児へのプレゼントのお菓子と葛巻高校の家庭科の授業で製作したクリスマスカードを、家庭クラブ委員会が中心となって各保育園にプレゼントしているもので、ボランティア活動の一貫として行っています。

12月17日、江刈保育園ではサンタやトナカイの被り物をした園児たちがお出迎え。葛巻生サンタが「皆さんいい子にしていますか」と尋ねると、園児たちは元気いっぱい「はい!」と答え、葛巻生サンタたちを歓迎していました。

江刈保育園を訪問した2年生の久保志歩さんは「子どもたちの出迎えがうれしかった」と話し、山村華杏さんは「ぜひ来年も参加したい」と子どもたちへ笑顔を届ける活動に意欲を見せていました。

五日市保育園

江刈保育園

高校生記者レポート

THE・京都を満喫!

修学旅行2日目は各班ごとにそれぞれ行きたいコースに分かれ、京都を散策しました。私は竹林に行きたかったので、嵐山コースを選びました。街並みがTHE・京都。さまざまな寺や神社を訪れ、至高の美しさに感動しました。路面電車などにも乗りました。後払いということに衝撃。しかも一律250円! 安い!

修学旅行で京都の良さは十分感じてきましたが、やっぱり葛巻の方が落ち着きます。奥の葛巻いいとこさ~ (葛巻音頭より)

1 見事な紅葉が見られた嵐山 2 竹林を体全体で感じる一郎さん

2年生39人が12月5日から8日までの4日間、関西方面に修学旅行へ行ってきました。

五感で学んだ修学旅行

今回は修学旅行3日目に行ったUS J (ユニバーサル・スタジオ・ジャパン) についてお話しします。US Jでは最初にハリー・ポッターエリアのジェットコースターに乗りました。とてもリアルで絶叫しました。お昼ごはんはみんなでクーポンを出し合い、僕の筋肉より大きいピザを食べました。6,900円と高かったですが、その金額に見合う味でもおいしかったです。

この日はアトラクションで叫びすぎて喉が痛かったですが、一生の思い出になりました。

3 ハリー・ポッターの世界を満喫する匠哉さん 4 昼食に食べた大きいサイズのピザ

林業

11月20日は県森林組合連合会の中崎和久会長をはじめ連合会の職員が講師となり「林業」をテーマに講義が行われました。日本、岩手県、そして葛巻町の森林環境の現状と課題のほか、森林を守るために高校生ができることを身近な葛巻町の森と関連付けながら話がされました。県産木材のおもちゃも紹介され、生徒たちは直接触れて木の温かみを感じていました。

高齢者福祉

11月27日は「高齢者福祉」について講義とワークショップが行われました。町地域包括支援センターの野里夕佳保健師が講師となり、町の高齢率や高齢者に対する支援策など概要を学び、年を取ることのイメージや高校生が高齢者に対してできることをグループごとに話し合いました。生徒たちは積極的に意見を交わし、自分たちが実践できることを再確認していました。

乳製品

12月4日は「乳製品」をテーマにタカナシ乳業株式会社岩手工場の田嶋次郎工場長が、葛巻町で牛乳が製造されるまでの流れや製造にあたってのこだわりなどを話しました。牛乳をPRする方法を考えるワークショップでは、高校生ならではのアイデアが飛び出すなど、身近な牛乳について理解を深めるきっかけとなった様子でした。

スポーツ

12月11日は、町まなび交流課の上館芳彦室長から町のスポーツツーリズムの取り組みを学んだのち、町スポーツ推進委員の服部健さんと里見脩太朗さんの指導のもとニュースポーツ「クッパ」を体験しました。生徒たちは初挑戦する競技に苦戦しながらも、次第にコツをつかみ好プレーにはハイタッチでたたえ合うなど、競技を楽しんでいました。

総合的な探究の時間「くずまきゼミ」
葛巻町を知り、深める入口に

生徒の感想

木戸場 蓮夢 さん (江刈出身)

乳製品の講義が印象深かったです。家の近くに工場があり知っていることも多かったですが、改めて葛巻町の牛や牛乳のことを深く知ることができたからです。たくさんの職業があることを知る機会にもなり、進路選択にも生かせると思います。

谷地 樺林 さん (久慈市出身)

多種多様な分野の方の講義を受けたことで、これまで知らなかった世界を知り、将来への期待や自分の可能性も広がったように感じます。どの分野の方々も課題を持ち解決に向けて模索しながら取り組んでいて感銘を受けました。

青嶋 帆乃海 さん (静岡県出身)

町の特徴であるミルク・ワイン・クリーンエネルギーについて、今に至るまでの歴史や努力を知ることができました。私が感じ取ったことを葛巻町を知らない人にも伝えたいと思います。また私の生活が多くの人に支えられていることにも気付きました。